



## 「松浦市長 “イクボス” を語る」

### 宣言間近？



育児や介護といった私生活と仕事との両立をはかる部下を後押ししながら、組織として業績の成長を目指し、自らもワークライフバランスを意識した生活を楽しむ経営者・管理職を指す“イクボス”。今回は、これまで数々の子育て環境の整備に携わってきた松浦松浦市長に“イクボス”について伺いました。

**質問1** この前、市長はお孫さんの紐（ひも）落としだったと聞きましたが、どんな気持ちでしたか？

**松浦市長** やっぱり、うれしいですね。孫の紐落としは。もう孫が3人もいますけど、まだおじいちゃんって呼ばれることは抵抗があつてね（笑）孫はかわいいです。責任がないので・・・（笑）

**質問2** 市長が子育て世代の時の社会環境や職場環境はどうでしたか？（松浦市長は自治省（現総務省）で勤務されていた）

**松浦市長** 私たちの時代は、企業や職場で働く人は、もう夜中まで働くのが当たり前で。みんな、そうだったですよ。企業戦士とか高度経済成長とかの真ただ中で。「家族の時間をつくる」という人たちは、社会の風潮として「仕事から逃げている」と思われていたような時代でした。男性は、職場でバリバリ働いて収入を稼いで、女性は、専業主婦で家事や育児をする、そんな典型的な時代でしたね。

**質問3** いま、世の中では「ワークライフバランス」と叫ばれていますけど、松浦市長のこれまでの「ワークライフバランス」はどうでしたか？

**松浦市長** そんな時代だったから、自分の「ワークライフバランス」なんて、考えたこともなかったですね（笑）それが当たり前だと思っていたから（笑）。だから、今の時代のいう「ワークライフバランス」という言葉も、正直ちょっとしっくりこないですよ（笑）

**質問4** いま、「イクボス」という言葉がありますが、ご存知ですか？

**松浦市長** 知っていますよ。最初は勘違いをしていて、「子育て中の会社や行政の代表者」という意味かと思っていましたけどね（笑）



**質問5** 「イクボス」をどう思われますか？

**松浦市長** うーん、どうだろう。子育て世代を応援したいという気持ちは非常にあるし、こういう時代だからこそ、松江市も子育て支援も手厚くしているけど、今の「イクボス宣言」って、どっちかっていうと「精神宣言」みたいな感じじゃないですか。やるんなら、具体的に支援をしていきたいというのが、本音です。だから具体的に何をどうするかっていうのをいろいろ検討したいと思っています。

**質問6** 企業や組織の子育て支援の在り方については？

**松浦市長** 一般の企業でも、手厚くやられている企業があり、企業としての努力だと思えますよね。そういった企業は結果として良い企業として、人材の確保などもしやすいし、良い人材が集まりやすい。ただ、企業も当然、社員の皆さんに給料を払わなきゃいけない。みなさんの家族を養うことにつながっているわけで、給料を払うには、当然、利益を上げなきゃいけない、利益を上げるためには働かなくてはならない。その部分をどうバランスを取ってやっていくかだと思うんですよ。



**質問7** 松江市役所として、職員の子育て支援をサポートしたいとか、こんなイクボスになりたいなあという思いがあれば教えてください。

**松浦市長** 松江市役所は、みなさんの税金で運営されていて、当然、働く職員も、私も、みなさんの税金から給料をもらっている。職員を大切に思う気持ちと、市民の皆さんへのサービスとかいろいろ考えると、どこまでのバランスで、どうやればいいのか、悩むところです。また、そういった職員の環境改善が、今よりもサービスレベルの高いものにつながっていくかもしれない。いろんな可能性も含めて、そういったことを具体的に検討できればと思います。

「イクボス」にしても、単なる「宣言」だけでなく、具体的にそういった支援ができること事であるなら、検討したいですね。それは松江市役所だけではなく、民間企業への支援も含めてですね。そういった中で、松江市の新しい子育て支援の形ができればと思います。